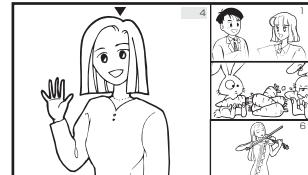
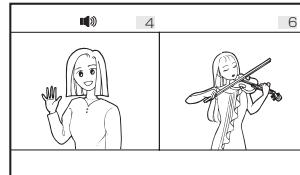
気になる裏番組のチェックや何かおもしろい番組はないかといったときに、簡単な操作で番組の検索をすることができます。

2 ／マルチ画面モードについて

2 ／マルチ画面モードには 2 画面モードとマルチ画面モードの 2 種類があります。

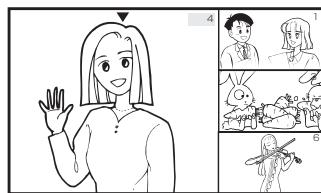
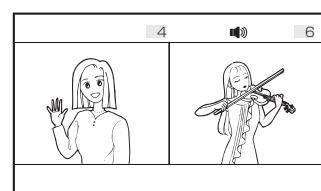
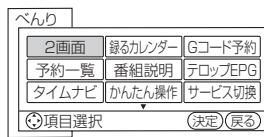
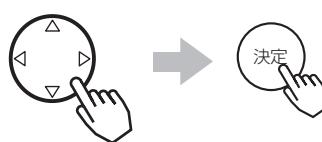
2 画面モード：
同時に 2 つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利なモードです。57

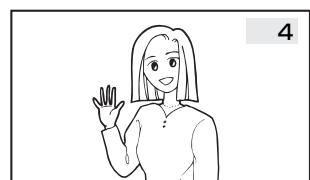
マルチ画面モード：
裏番組のチェックに便利なモードです。
よくご覧になる番組をあらかじめ設定しておきます。59

2 ／マルチ画面モードの選びかた

1 べんりボタンを押す

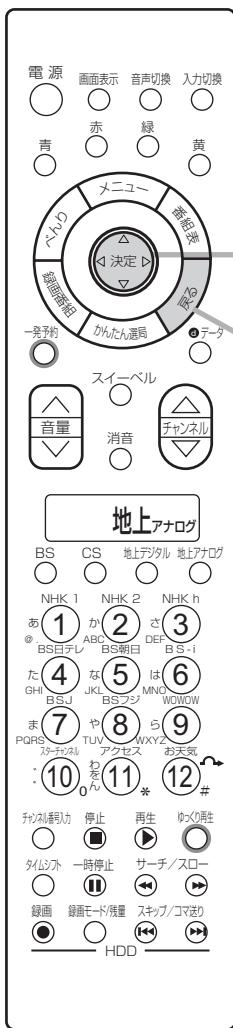
べんり画面が表示されます。

2 ◎で「2 画面」または「マルチ画面」モードを選び、決定ボタンを押す

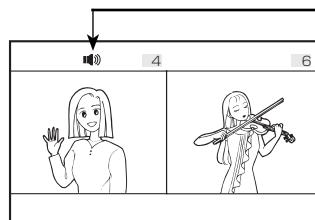
2 画面またはマルチ画面のうち表示させたいモードを選びます。
決定ボタンを押すと、選択画面が消えてマルチ画面モードに切り換わります。

3 戻るボタンを押す

2 画面またはマルチ画面が終了します。

●べんり画面で同じ画面モードを選択し、決定ボタンを押した場合でも 2/ マルチ画面が解除されます。

2画面を楽しみたいとき

同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。
番組録画中や再生中でも2画面を楽しむことができます。136

2・3

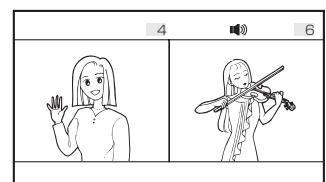
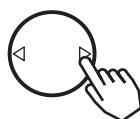
4

1 56 の操作で2画面を表示させる

音声を選んでいる画面を示します。

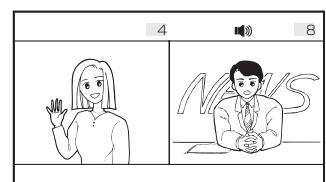
●右画面と左画面は、同じチャンネル、または同じビデオモードは選べません。
●デジタルチャンネルやi.LINK端子に接続したD-VHS画面およびSDメモリーカードの「写真を見る」画面は、同時に2画面で見ることはできません。
●PC入力をご覧になっているとき、べんり画面の2画面ボタンを操作すると、PC画面内に地上アナログ放送やデジタル放送、ビデオ入力を子画面表示することができます。61
2画面をご覧になっているときは、PC入力を選ぶことはできません。

2 画面切り換え

◁▷で左画面と右画面を切り換える

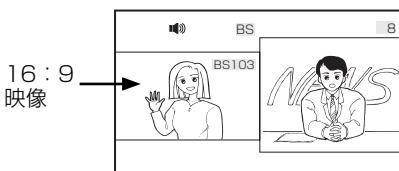
🔈表示が選ばれた画面を示します。

3 チャンネル切り換え

△▽でチャンネルを切り換える

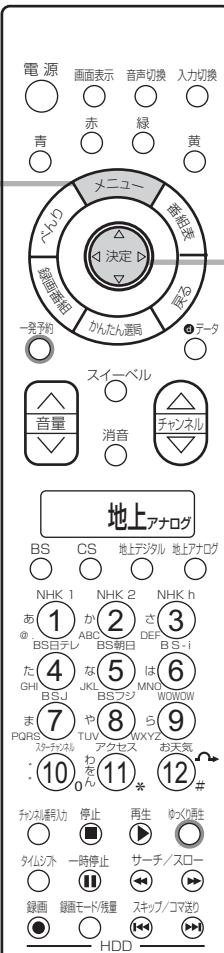
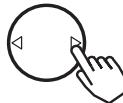
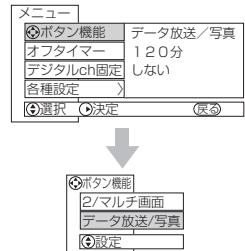
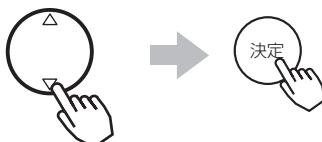
🔈が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。

●左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
●チャンネルボタンでも選べます。
●ビデオ1～ビデオ5に切り換えるときは、入力切換ボタンで切り換えてください。
●デジタル放送に切り換えるときは、BS、CS、地上デジタルボタンで切り換えてください。

4 戻るボタンを押すと🔈表示の画面が1画面となって2画面を終了します

メモ

地上デジタル、BS・CSデジタル放送の16:9映像、「写真を見る」の画面、ビデオ4、5のコンポーネント入力（1125i(1080i)、750p(720p)）の場合、ワイド画面のまま表示されます。

2/ マルチ画面を楽しみたいとき（つづき）

2 画面を楽しみたいとき（つづき）

2 画面時にデータ放送または写真を見る画面を操作するには

1 ◁▷でデータ放送または写真を見る画面を選択する

2 メニューボタンを押し、△▽で「◇ボタン機能」を選び、▷または決定ボタンを押し、△▽で「データ放送 / 写真」を選択する

3 設定が終了したらメニューボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 データ放送および写真をみる

画面操作のしかたはデータ放送 118 および写真を見る 67 をご覧ください。

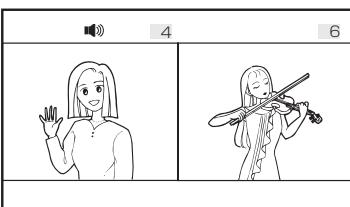
5 2 画面の操作に戻すときは、2 で「2/ マルチ画面」を選択します。

メ　モ

2 画面について

2 画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。

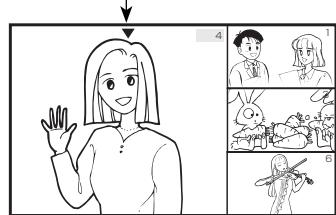
		選んでいる画面	
		左画面	右画面
スピーカー		左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	モード「1」	左画面の音声	右画面の音声
	モード「2」	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力		左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

●ヘッドホンモードの選択は 55 を参照してください。
●「写真を見る」画面を選択した際は、音声は出力されません。

2 画面時のモニター出力について

●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。
モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。
●メニュー「その他」の「入力自動録画」が「する」設定のときは、モニター出力端子から映像と音声は出力されません。
デジタル ch 固定「する」のとき（録画予約を実行しているとき）111は、デジタル放送の映像と音声が出力されます。
●ビデオ 4，5 入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。
●ビデオ入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニュー「初期」の「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ）」を「する」に設定してください。226

マルチ画面を楽しみたいとき

1 56 の操作でマルチ画面を表示させる

選んでいる画面を示します。

● PC 入力をご覧になっているとき、マルチ画面を選ぶことはできません。また、番組録画中や再生中にマルチ画面を選ぶことはできません。
●マルチ画面をご覧になっているときは PC 入力を選択できません。

2 画面切り換え

▼表示が選んでいる画面を示します。

選んでいる画面を示します。

3 チャンネル切り換え

選んでいる子画面の表示色が緑色になります。

4 チャンネルボタンで選局する

●入力切換ボタンでビデオモードを選ぶこともできます。
①子画面を選択したときは、 でお好みの子画面を選ぶと、選んだ画面（表示色が緑色）が動画で表示されます。
他の子画面は、静止画で表示されます。
何も操作しないときは、自動的に番組内容を更新します。
②決定ボタンを押すと、選んでいた子画面を選択してマルチ画面を終了します。
●操作画面が子画面のときは、デジタル放送やビデオ 4、5 入力は選択できません。
●操作画面が親画面のときは、 、チャンネルボタンまたは入力切換ボタンで切り換えることができます。また、入力切換ボタンでコンポーネント入力を選択することもできます。

5 戻るボタンを押す

マルチ画面が終了します。

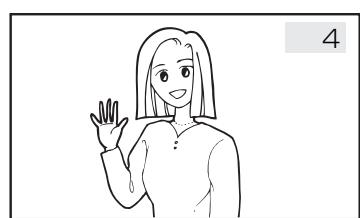
お知らせ

マルチ画面時の画面切り換えについて
●マルチ画面をご覧になっているとき、PC 入力を選択することはできません。
●子画面は、デジタル放送、HDD 再生およびビデオ 4 ～ 5 入力を選択することはできません。

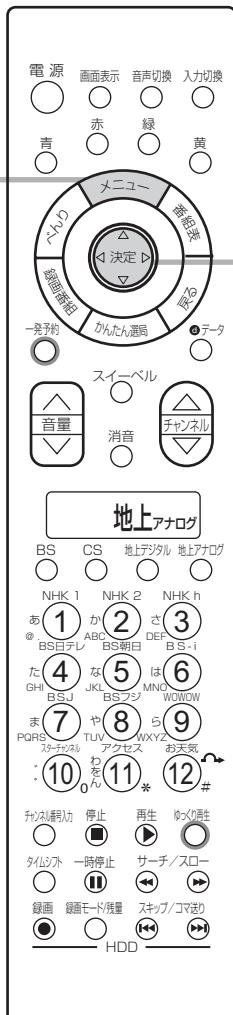
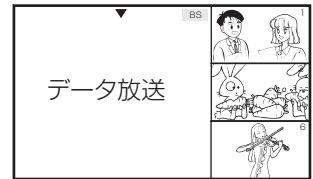
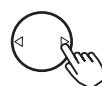
マルチ画面時の音声についてのご注意
マルチ画面時は、スピーカー、ヘッドホン共に親画面の音声が出力されます。子画面の音声は出力されません。

メ　モ

親画面が、地上デジタル、BS · CS デジタル放送の 16 : 9 映像、「写真を見る」の画面、ビデオ 4、5 のコンポーネント入力 (1125i(1080i)、750p(720p)) の場合、ワイド画面のまま表示されます。

16 : 9 映像

多機能の使いかた

マルチ画面を楽しみたいとき（つづき）

マルチ画面時にデータ放送または写真を見る画面を操作するには

1 ◁▷でデータ放送または写真を見る画面を選択する

データ放送

2 メニューボタンを押し、△▽で「✥ボタン機能」を選び、▷または決定ボタンを押し、△▽で「データ放送 / 写真」を選択する

ボタン機能
2/マルチ画面
データ放送/写真
設定

3 設定が終了したらメニューボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 デジタル放送および写真をみる

画面操作のしかたは「データ放送」118 および「写真を見る」67 をご覧ください。

5 マルチ画面の操作に戻すときは 2 で「2/ マルチ画面」を選択します。

メ モ

マルチ画面時のモニター出力について

●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。モニター出力端子からは親画面の映像と音声が出力されます。

●メニュー「その他」の「入力自動録画」が「する」設定のときは、モニター出力端子から映像と音声は出力されません。112
デジタル ch 固定「する」のとき（録画予約を実行しているとき）は、デジタル放送の映像と音声が出力されます。

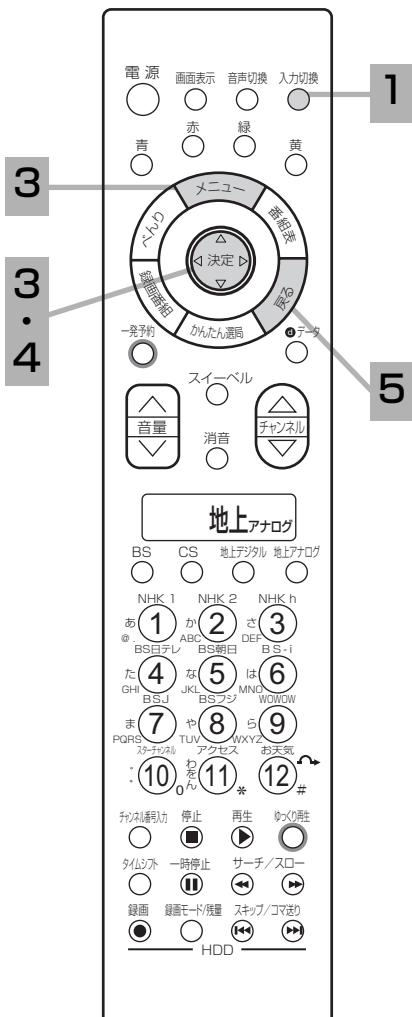
●ビデオ 4 ～ビデオ 5 入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。

●ビデオ入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ）」を「する」に設定してください。 226

チャンネル合わせでチャンネル設定を変更したいときは

引越しなどにより、チャンネル合せ（地域番号）で地域番号を変更したときは、マルチ画面のチャンネルが自動的に更新されます。必要に応じて、もう一度設定してください。

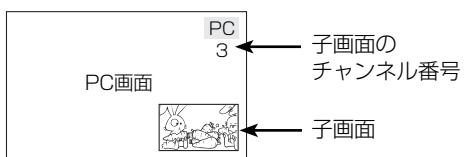
PC ウィンドウを楽しみたいとき

PC 入力をご覧になりながら裏番組をチェックする（PC ウィンドウで見る）

1 入力切換ボタンで PC 入力を選ぶ

入力切換

PC

PC画面

2 56 の操作で「2 画面」を選んで決定ボタンを押す

PC 画面の右下に、地上アナログ放送、デジタル放送またはビデオ入力が子画面表示されます。

3 音声を選ぶ

お買上げ時、子画面を表示すると、スピーカーからの音声は子画面の音声に切り換わります。スピーカーの音声は、PC 音声入力からの音声にすることもできます。

①メニューボタンを押す

②[△▽]で「音声入力切換」を選び、[▷]または決定ボタンを押し、[△▽]で設定する

メニュー	
ワイド切換	リアル
自動調節	
音声入力切換	子画面音声
オフタイマー	１２０分
各種設定	
選択 決定	戻る

[△▽]下記モードが選択されます。

PC 音声 / 子画面音声

音声入力切換
PC音声
子画面音声
設定

③設定が終了したらメニューボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

●ヘッドホンからの音声は、ヘッドホンモードの設定 55 により、次の音声が出力されます。

・ヘッドホンモード「1」:「音声入力切換」で選んだ音声

・ヘッドホンモード「2」: 子画面の音声

4 子画面を選ぶ

チャンネルボタン (①～⑫) またはチャンネルアップダウンボタンでチャンネルを切り換える

入力切換ボタンで入力モードを切り換える

● CHスキップ(空きチャンネルの飛び越し選局) 186 194 199 や、入力スキップ 227 を設定したチャンネルや入力モードは選べません。

●親画面の入力モードを切り換えるときは、5で子画面を解除してから行ってください。

5 戻るボタンを押す

子画面が解除されます。

メ モ

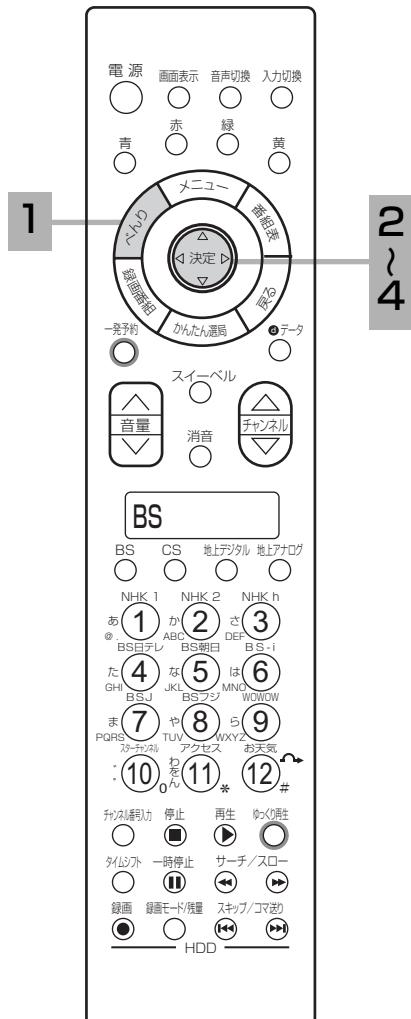
●子画面は[◁▷]でも選ぶことができます。

[△▽]でチャンネルを切り換える

[◁▷]で入力モードを切り換える

●モニター出力からは、PC 入力および子画面の映像は出力されません。
子画面には HDD 再生画面は、出力されません。

多機能の使いかた

地上アナログ放送、デジタル放送、外部機器からのビデオ入力映像をメディアの違いを気にすることなく、気軽に画面で選ぶことができます。

1 べんりボタンを押す

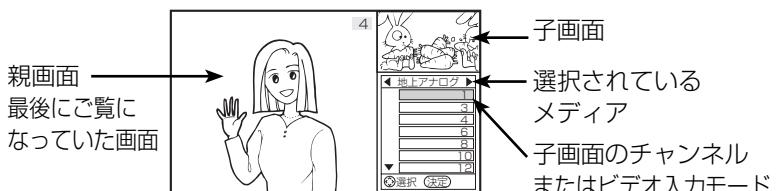
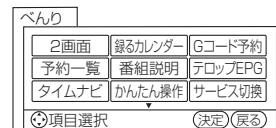
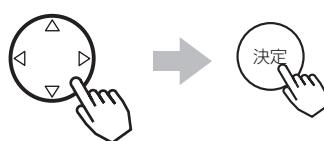
べんり画面が表示されます。

2 ◎で「かんたんチェック」を選び、決定ボタンを押す

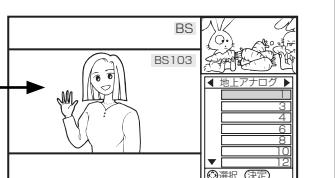
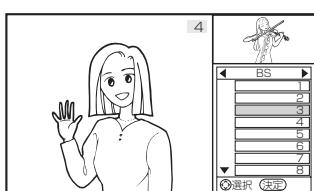
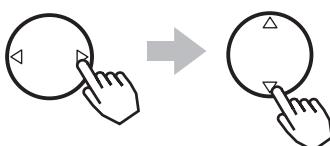
かんたんチェック画面が表示されます。

べんり

マルチ画面	i.LINK操作	かんたんチェック
メール·ボード	写真を見る	利用状況
予約録画中止	カード情報	

項目選択 決定 戻る

●デジタル放送のチャンネルおよび i.LINK 接続による D-VHS 入力は、同時に 2 画面で見ることはできません。
● PC 入力をご覧になっているときは、かんたんチェック画面にすることはできません。また、かんたんチェック画面のときに PC 入力を選ぶことはできません。
● HDD 再生画面は表示できません。

メモ

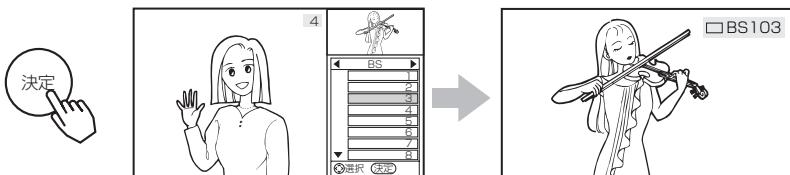
親画面が、地上デジタル、BS · CS デジタル放送の 16：9 映像、「写真を見る」の画面、ビデオ 4、5 のコンポーネント入力 (1125i(1080i)、750p(720p)) の場合、ワイド画面のまま表示されます。

3 ◁▷でメディア（地上アナログ放送、デジタル放送（BS、CS、地上デジタル）、外部機器）を選択し、△▽でチャンネルまたはビデオ入力を選ぶ

●メディアは地上アナログが最初に選択されます。

●メディアを切り換えたときは、最上段のチャンネルまたはビデオ入力モードが選択されます。

●「▼」の表示があるときは、▽を押すと次のページが表示されます。
「▲」の表示があるときは、△を押すと前のページが表示されます。

●親画面はチャンネルまたは入力切換ボタンで選ぶことができます。
チャンネルアップダウンボタンでも選択できますが、CH スキップ設定 186 194 199 で「スキップする」に設定したチャンネルは選べません。

4 決定ボタンを押す

子画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードが選択され、かんたんチェック画面を終了します。

●もう一度、べんり画面で「かんたんチェック」を選んで決定ボタンを押すか、または戻るボタンを押しても終了することができます。この場合は親画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードのまま、かんたんチェック画面を終了します。

メ モ

●メディア「地上アナログ」は、空きチャンネルを表示しないようにできます。（CH スキップ設定で「スキップする」に設定した場合 186 ）

●メディア「BS」「CS」「地上デジタル」は、リモコンの BS、CS、地上デジタルチャンネルボタン（1 ～ 12）の番号を表示したものです（チャンネル番号ではありません）。

●「地上デジタル」を選択するには、地上デジタル放送開始後に地上デジタルチャンネルの設定（CH 合せ（地域名））188 を行なうことが必要です。

●リモコンのデジタルチャンネルボタンは、お買い上げ時 30 のデジタル放送が設定されています。
メディア「BS」「CS」「地上デジタル」で子画面に表示されるデジタル放送を変更したいときは、デジタルチャンネルの設定 (CH 合せ (マニュアル))193 197 にしたがって設定しなおしてください。

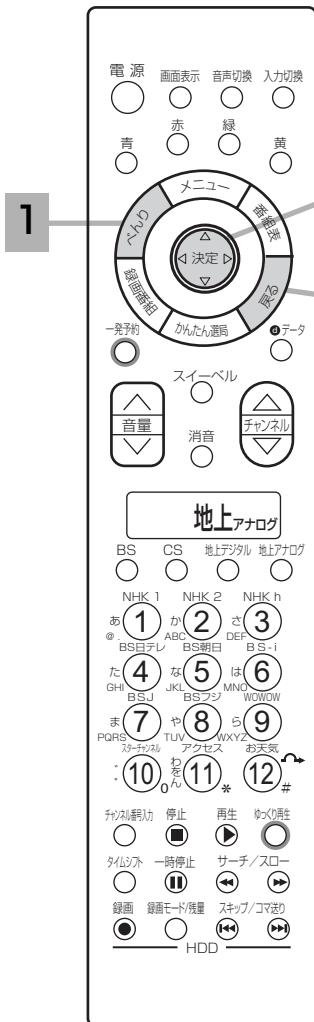
●メディア「外部機器」は、使用しない入力を表示しないようにできます。（入力スキップ設定で「スキップする」に設定した場合 227 ）

● CH スキップ設定 186 で地上アナログ放送のすべてのチャンネルが「スキップする」設定のときは、かんたんチェック画面は操作できません。

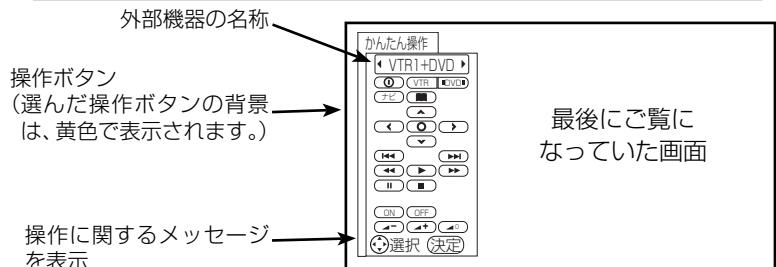
●入力スキップ設定 227 で、すべての入力が「スキップする」に設定されている場合は、メディア「外部機器」は選択できません。

●親画面でデジタルチャンネルまたは i.LINK 接続による D-VHS 入力をご覧になっているときは、子画面でメディア「BS」「CS」「地上デジタル」は選択できません。

●デジタル ch 固定「する」のとき（録画予約が実行中のとき）は、メディア「BS」「CS」「地上デジタル」は選択できません。

●メディア「外部機器」は、i.LINK 接続による D-VHS 入力および PC 入力は表示できません。

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
操作できる外部機器とメーカーについては、230をご覧ください。

かんたん操作画面の説明

操作ボタン一覧

⏻：電源	▶：再生	⊕：チャンネルアップ
📖：メニュー	❚❚：一時停止	⊖：チャンネルダウン
▲▼◀▶：カーソル	■：停止	衛星切換
○：決定	●：録画（VTR機器のみ）	⓪~⑨：チャンネル番号
ナビ：ナビ	◀◀：巻戻し/早戻し	⏻：アンプ電源（AVアンプ）
VTR / DVD：VTR/DVD切換	▶▶：早送り	音量アップ（AVアンプ）
HDD / DVD：HDD/DVD切換	⏮：一つ前へスキップ	音量ダウン（AVアンプ）
	⏭：一つ先へスキップ	消音（AVアンプ）
		ON：電源ON（AVアンプ）
		OFF：電源OFF（AVアンプ）
		入力切換（AVアンプ）

かんたん操作画面の使いかた

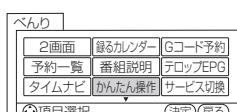
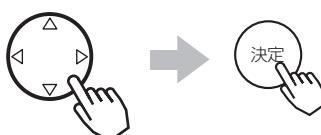
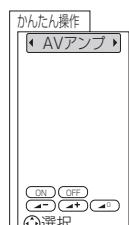
準備

①あらかじめ接続する外部機器をIRコントロール設定画面で登録します。230
②かんたん操作モードを設定します。71

1 べんりボタンを押す

べんり画面が表示されます。

2 ◎で「かんたん操作」を選び、決定ボタンを押す

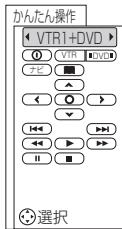
かんたん操作画面が表示されます。

（テレビにAVアンプが設定されている場合）

● PC入力画面をご覧になっているときには操作できません。

お知らせ

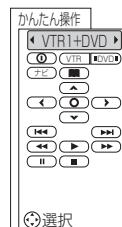
- かんたん操作機能をご使用になるにはIRコントロール設定 230 で、ご使用になる外部機器とメーカーを設定してください。
- かんたん操作機能で操作できる外部機器とメーカーは 230 をご覧ください。
- 予約録画実行中のときは、かんたん操作機能をご使用になれません。
- 手順4で決定ボタンは長押ししないでください。リモコン送信機とIRコントローラーからのリモコン信号が干渉しやすくなり、外部機器が正常に動作しにくくなることがあります。

3 で操作する外部機器を選ぶ

を押すごとに、下記の入力端子に接続した外部機器が選択できます。

テレビ / ビデオ 1/ ビデオ 2/ ビデオ 3/ ビデオ 4/ ビデオ 5

●入力表示書換設定で各入力端子に設定した外部機器の名称が表示されます。右図はビデオ 1 入力端子に VTR1 ＋ DVD（外部機器 DVD 付き VTR）を設定したときの例です。
●テレビは、地上アナログ放送とデジタル放送を意味します。
●入力スキップを設定したビデオ入力は選ぶことができません。
●かんたん操作画面の外部機器に PC 入力を選ぶことはできません。

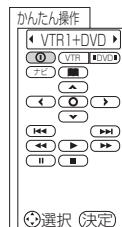
4 決定ボタンを押す

操作する外部機器の映像をご覧になりたいときに押します。

●操作する外部機器が接続されたビデオ入力が選択されます。

5 を押し で操作ボタンを選び、決定ボタンを押す

を押すと、カーソルが操作ボタンに移ります。
決定ボタンを押すと IR コントローラーのリモコン発光部から外部機器を制御する信号が送信されます。

6 戻るボタンを押す

●かんたん操作画面が解除されます。
●チャンネルボタン、チャンネルアップボタン、入力切換ボタンを押すと、かんたん操作画面は解除されます。
●メニューやべんりなど他のメニュー画面を出したときもかんたん操作画面が解除されます。

メ　モ

●入力端子「テレビ / ビデオ」で外部機器に「AV アンプ」を設定すると、入力端子「ビデオ 1」～「ビデオ 5」でも共通で使用することができます。230
●操作ボタンのチャンネルアップダウン（⊕、⊖）、音量アップ / ダウン（◢+、◢−）は、決定ボタンを押す毎に 1 チャンネルまたは 1 ステップずつ変化します。
●操作ボタンの巻戻し（早戻し）/ 早送り（◀◀、▶▶）、スキップ（|◀◀、▶▶|）は、決定ボタンの長押しによる連続操作に対応していないため、外部機器付属のリモコン送信機と同じ操作ができないことがあります。
●選択された外部機器または操作ボタンは、チャンネルまたは入力の切り換えを行うと、外部機器は「テレビ」に戻ります。

リモコンスルー機能で操作する

本機のモニター部と AVC ステーションに接続した外部機器を離れた場所に設置したときに、画面を見ながら外部機器を操作したいときに、外部機器付属のリモコン送信機を、本機のモニターのリモコン受信窓に向かって操作します。
本機能をご使用になるときは、「かんたん操作」の設定を「2」に設定します。71

お知らせ

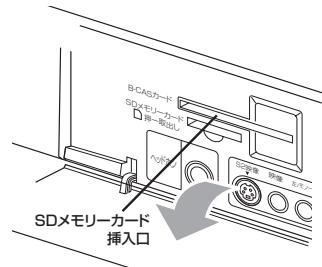
●ご使用の外部機器によっては、リモコンスルー機能で操作できないことがあります。このようなときは、外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
●予約録画実行中は、リモコンスルー機能をご使用になれません。
●本機のモニター部と AVC ステーションに接続した外部機器を近い位置に設置したときなどに、本機に向かって操作したリモコン信号と IR コントローラーからのリモコン信号とが干渉して正常に動作しないことがあります。このようなときは、「かんたん操作」の設定を「1」にして 71 、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。
●リモコンスルー機能は、モニターのリモコン受信窓でのみ動作します。AVC ステーションのリモコン受信窓では動作しません。

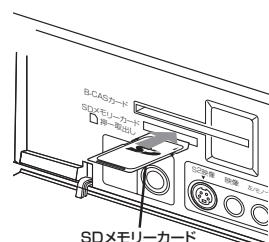
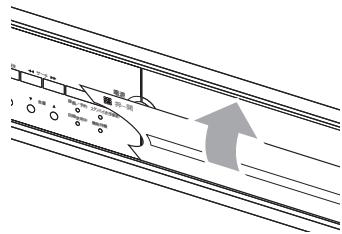
本機は、デジタルカメラで SD メモリーカードに記録した静止画像を再生して、テレビ画面でご覧になることができます。(この時、音声は出力されません。)

お守りください

SD メモリーカード（またはマルチメディアカード）以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。

SD メモリーカードを入れる

1 AVC ステーション前面のとびらを開ける

2 SD メモリーカードを挿入する

SD メモリーカードには裏表があります。表面を上にして、まっすぐ奥まで差し込んでください。

3 AVC ステーション前面のとびらを閉める

SD メモリーカードの抜きかた

SD メモリーカードの抜きかた

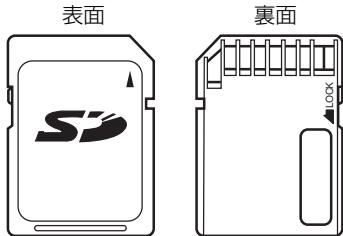
挿入されている SD メモリーカードを奥に押して指をはなせば出てきます。

お知らせ

SD メモリーカードについて

●ＳＤメモリーカード（SD™）は、著作権保護機能を内蔵したほぼ切手サイズの小型メモリーカードです。

表面

裏面

●マルチメディアカード（MultiMediaCard™）との上位互換があるため、本機では SD メモリーカードと同様にマルチメディアカードもご使用になれます。

●メモリーカードに記録されている容量によっては記録されている画像をすべてご覧になれない場合があります。

お守りください

SD メモリーカードの取り扱いについて

●メモリーカードは精密機械です。曲げたり、無理な力や衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

●メモリーカードの金属部（電極）に直接触れたり、汚れをつけたりしないでください。

●メモリーカードを加工したり、分解したりしないでください。

●メモリーカードに水をかけたり、高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用・保管は避けてください。

●メモリーカードの持ち運びや保管時は、静電気や電気的ノイズの影響を受けないように注意してください。静電気や電気的ノイズの影響を受けると、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。

●メモリーカードの画像を見ているときは、AVC ステーションの電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

写真を見る

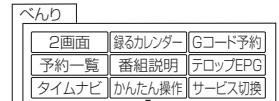
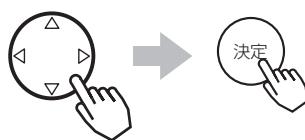
本機ではデジタルカメラなどで記録した画像データを表示することができます。
表示できる画像データは、DCF 規格の画像データです。

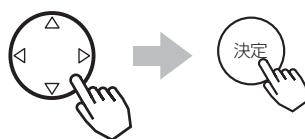
1 べんりボタンを押す

べんりメニュー画面が表示されます。

2 ◯で「写真を見る」を選び、決定ボタンを押す

写真を見る画面が表示されます。

メモリーカードが挿入されていることを確認してください。

3 ◯で画像を選び、決定ボタンを押す

選択した画面が 1 画面表示されます。

- ●画像データのサムネイルを最大 9 個表示します。10 枚以上の画像データが SD メモリーカードに登録されているときは、下端から◯ボタンで表示送りすることができます。
- ●黄色ボタンを押すごとに、90 度ずつ時計まわりに回転します。
- ●画像を選択して赤ボタンを押すと、スキップ設定がされます。スキップ設定された画像データはスライドショーでは表示されません。
- ●数字ボタンで 3 桁の数字を入力すると、指定した画像データの表示に切り換えることができます。12 枚目の表示に切り換えるときは、⑩、①、② と押します。（総数が 99 枚以下のときは、2 桁での入力になります。）

4 戻るボタンを押す

写真を見る画面に戻ります。

5 戻るボタンを押して、メニューを消す

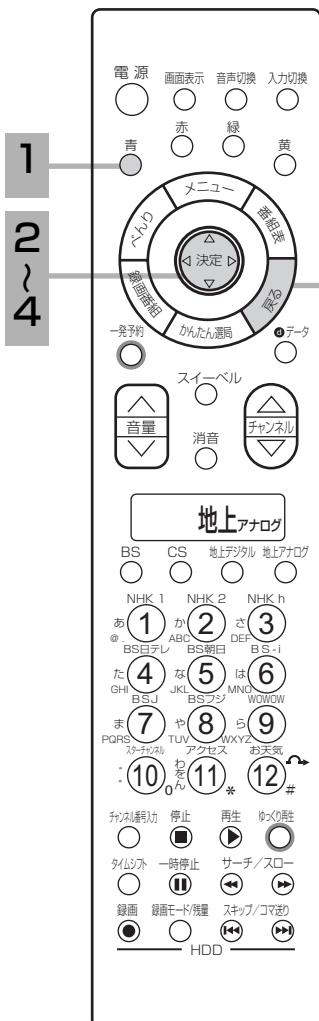
写真を見る画面を終了します。

お知らせ

- ●水平方向の画素数が 3072 画素、垂直方向の画素数が 2304 画素をこえる画像は表示することができません。
- ●表示できる画像データは 999 個までです。
- ● DCF(Design rule for Camera File system) とは、デジタルカメラの統一フォーマットとして制定された画像ファイルフォーマットです。DCF 対応のデジタル機器では、相互に画像ファイルを利用することができます。
- ●サムネイルがない画像データはサムネイルが表示されません。
- ●パソコンなどで編集した画像データや画像データの種類によっては表示されないことがあります。
- ●拡張端子に接続したメモリーカードリーダーやデジタルカメラに挿入されたメモリーカードの画像データも同様の操作で表示することができます。拡張端子に接続できる機器は 217をご覧ください。
- ●大切なデータは、バックアップを取って置くことをおすすめします。

スライドショーを表示する

画像データを自動的に切り換えて表示することができます。

写真を見る 67 を表示させます。

1 青ボタンを押す

スライドショー設定画面が表示されます。

2 ◯で設定したい項目を選び、◯または決定ボタンを押し、◯で設定する

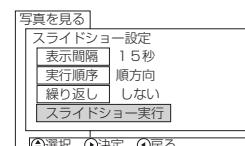
写真を見る
スライドショー設定
表示間隔　15秒
実行順序　順方向
繰り返し　しない
スライドショー実行
選択　決定　戻る

設定項目	→	設定のポイント
表示間隔	5/10/15/20/25/30/35/40/45/50/55/60	画像を表示し終わってから次の画像を表示し始めるまでの時間を指定することができます。
実行順序	順方向 / 逆方向	サムネイルに表示されている番号が大きくなる方向に切り換えるときは、順方向に設定します。
繰り返し	する / しない	「する」に設定すると、最後の画像データを表示した後は、自動的に最初の画像データに戻って表示が続けられます。

3 設定が終了したら◯または決定ボタンを押す

4 ◯で「スライドショー実行」選び、決定ボタンを押す

スライドショー（自動設定）が開始されます。

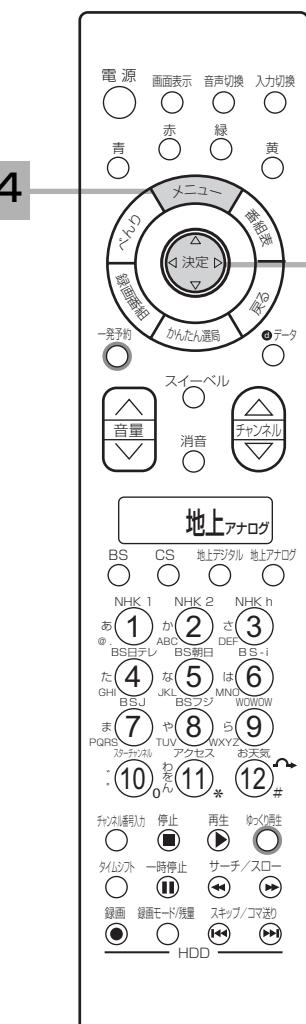
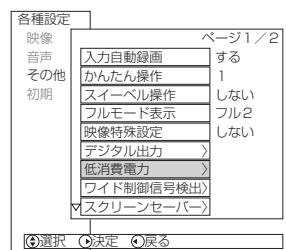
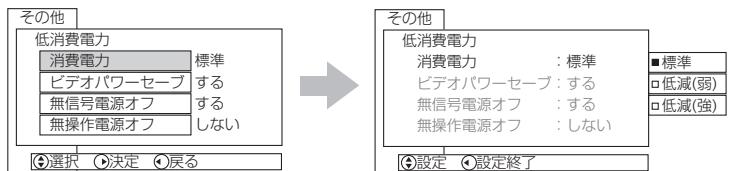
写真を見る
スライドショー設定
表示間隔　15秒
実行順序　順方向
繰り返し　しない
スライドショー実行
選択　決定　戻る

5 戻るボタンを押す

スライドショーを終了し写真を見る画面に戻ります。

お知らせ

- 緑ボタンを押すとスライドショーで表示する範囲の指定ができます。
- スキップと回転の設定内容は、記録されている内容が異なるSDメモリーカードを挿入するまで保存されます。

消費電力を低減したいとき

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「低消費電力」を選び、または決定ボタンを押す

2 で設定したい項目を選び、または決定ボタンを押し、で設定する

設定項目		設定のポイント
消費電力	標準／低減（弱）／低減（強）	明るさを抑えることにより、消費電力を低減することができます。
ビデオパワーセーブ	する／しない	「する」に設定すると、ビデオ入力信号が無い状態が約 10 秒間続くと、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。234
無信号電源オフ	する／しない	「する」に設定すると、地上アナログ放送が終了して映像信号が無くなったときに、約 10 分後に自動的に電源を「切」にします。
無操作電源オフ	する／しない	「する」に設定すると、リモコンや本体操作のない状態が約 2 時間以上つづくと、自動的に電源を「切」にします。

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

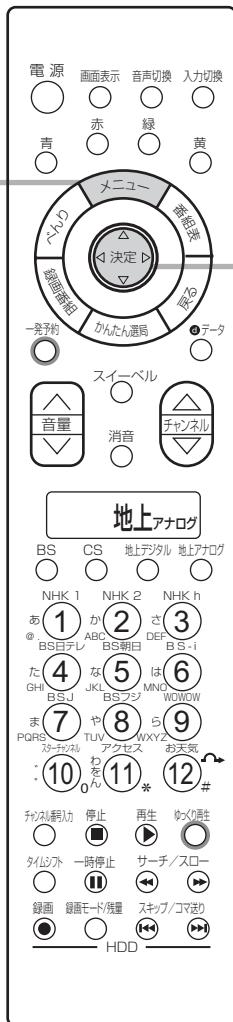
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

消費電力について
低減（強）に設定しているときは、明るさ（プラズマテレビモニター）またはバックライト（液晶テレビモニター）の調節はできません。

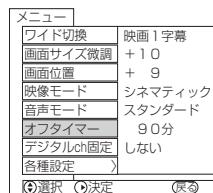
無信号電源オフについて
無信号状態でも映像信号が漏れ込んでいる場合などでは、正しく動作しないことがあります。

多機能の使いかた

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
お休みのときなどにご利用ください。

1 メニューボタンを押す

2 で「オフタイマー」を選び、または決定ボタンを押す

メニュー	
ワイド切換	映画１字幕
画面サイズ微調	＋１０
画面位置	＋ ９
映像モード	シネマティック
音声モード	スタンダード
オフタイマー	９０分
デジタルch固定	しない
各種設定	〉
選択 決定	戻る

3 でお好みの時間を設定する

オフタイマー
■ 切
□ ３０分
□ ６０分
□ ９０分
□ １２０分
設定

ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

切 /30 分 /60 分 /90 分 /120 分

●オフタイマーの設定時間は 30 分間隔で最大 120 分までです。
●時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

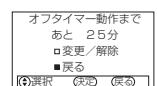
4 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

オフタイマーを確認・変更 / 解除したいとき

①１の操作を行います。
　オフタイマーの残量時間が 1 分間隔で確認できます。
②オフタイマーを変更 / 解除するときは、３の操作で「変更 / 解除」を選択し、設定時間変更または「切」に設定します。
③４の操作で画面表示を消します。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す

6 電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

お知らせ

●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

かんたん操作機能をご使用になるには

ビデオデッキや DVD プレーヤーなど、本機と接続したお手持ちの外部機器のリモコン操作を、本機のリモコンを用いて本機のリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機のモニター部と AVC ステーションを離れた場所に設置したときなど、画面を見ながら操作したいときに便利です。
かんたん操作機能を使用して外部機器を操作するには、あらかじめ IR コントローラーの接続と取り付け 157 が必要です。

かんたん操作機能について

かんたん操作機能 64

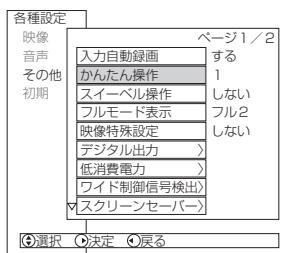
お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
あらかじめ接続する外部機器を IR コントロール設定画面で登録しておく必要があります。230

リモコンスルー機能 65

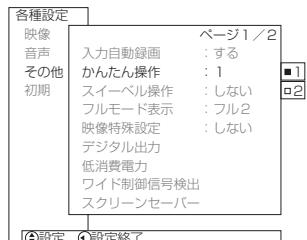
お手持ちの外部機器を外部機器付属のリモコンで本機のモニターのリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機のモニター部と AVC ステーション部に接続した外部機器を離れた場所に設置したときなどに使用します。

かんたん操作モードを切り換える

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ▽△で「かんたん操作」を選び、▷または決定ボタンを押す

2 ▽△でお好みのモードを選ぶ

▽△で下記モードが選択できます。

1/2

「1」：かんたん操作機能のみご使用になれます。
「2」：かんたん操作機能とリモコンスルー機能が併用できます。

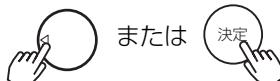
- 本機のモニター部から離れたところにある外部機器を操作したいときは、「2」に設定します。
- お買い上げ時のかんたん操作モードは、「1」が設定されています。

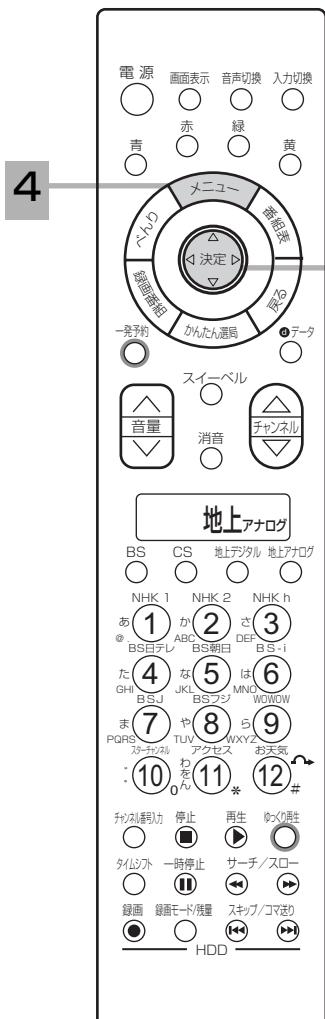
3 設定が終了したら◁または決定ボタンを押す

- 他の項目を設定するときは、手順 2 、3 をくり返す。

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

お知らせ

- かんたん操作機能をご使用になるには、157 の IR コントローラーの接続と取り付けが必要です。
- ご使用になる外部機器によっては、かんたん操作機能を使って操作できないこともあります。このようなときは、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。
- 予約録画実行中のときは、かんたん操作機能をご使用になれません。
- リモコンスルー機能はモニターのリモコン受信窓でのみ動作します。AVCステーションのリモコン受信窓では動作しません。

他の設定を変えたいとき(つづき)

スイーベル機能をご使用にならないとき

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「スイーベル操作」を選び、 または決定ボタンを押す

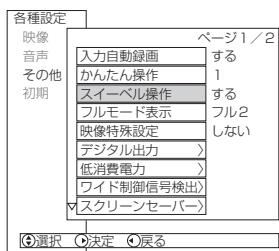
各種設定		ページ1/2
映像	入力自動録画	する
音声	かんたん操作	1
その他	スイーベル操作	する
初期	フルモード表示	フル2
	映像特殊設定	しない
	デジタル出力	〉
	低消費電力	〉
	ワイド制御信号検出	〉
	スクリーンセーバー	〉

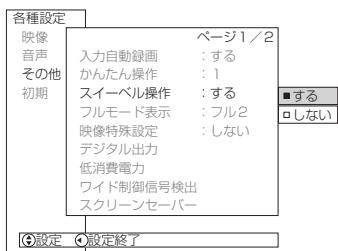
⊕選択 ⊙決定 ⊙戻る

2 でお好みのモードを選ぶ

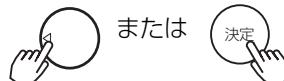
各種設定		ページ1/2
映像	入力自動録画	:する
音声	かんたん操作	:1
その他	スイーベル操作	:する
初期	フルモード表示	:フル2
	映像特殊設定	:しない
	デジタル出力	
	低消費電力	
	ワイド制御信号検出	
	スクリーンセーバー	

■する
□しない

⊕設定 ⊙設定終了

で下記モードが選択できます。

する / しない

「する」:スイーベル機能をご使用になれます。
「しない」:スイーベル機能はご使用になれません。

- ●スイーベル機能をご使用にならないときや、小さなお子様などにいたずらされないようにするときは、設定を「しない」にします。
- ●お買上げ時のスイーベル操作は「する」が設定されています。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

●他の項目を設定するときは、手順 2 、3 をくり返す。

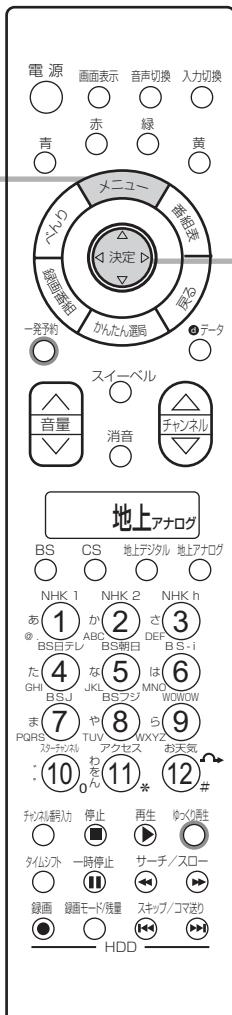
4 メニューボタンを押して、メニューを消す

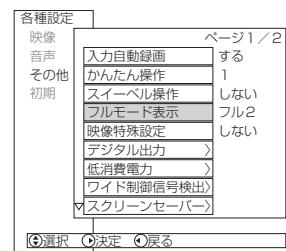
メ モ

「スイーベル操作」の設定が「しない」のとき、リモコンのスイーベルボタンを押すと “操作できません” また、モニター後面の専用スタンド端子から専用ケーブルが外れている場合は、“使用できません” と表示されます。

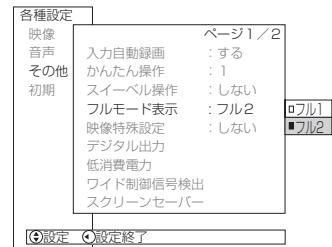
フルモードの画面サイズを切り換えるには（液晶テレビモニター接続時のみ）

本機能は、液晶テレビモニターのフルモードをより適した画面にする設定です。
Wooo5000 シリーズの液晶テレビモニターと接続した場合に設定することができます。

適用機種　W28-L5000 タイプ、W32-L5000 タイプ

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「フルモード表示」を選び、または決定ボタンを押す

2 でお好みのモードを選ぶ

で下記モードが選択できます。

フル 1/ フル 2

「フル 1」: 16:9 スクィーズ映像を画面いっぱいまで拡大して表示します。
液晶画面を有効に使用したい場合に使います。
「フル 2」: 16：9 スクィーズ映像を忠実に表示したい場合に使用します。
この場合、画面の上下に帯が表示されます。
お買上げ時の「フルモード表示」は「フル 1」に設定されています。

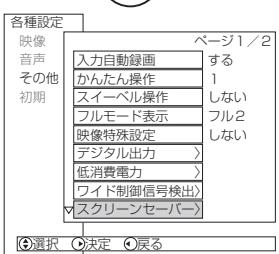
3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押して、メニューを消す

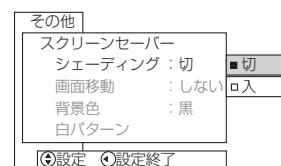
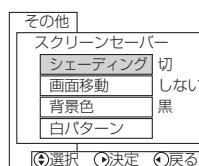
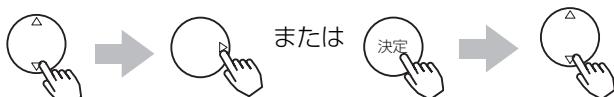
スクリーンセーバーをご使用になるには

データ放送、写真を見る、PC 入力の時、ゲーム機など長時間同じ画像（動きの少ない画像）をご覧になる、または繰り返し表示させた場合、焼き付き現象が出る場合があります。この場合、このスクリーンセーバーをご使用になると低減することができます。

24 の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「スクリーンセーバー」を選び、 または決定ボタンを押す

2 シェーディング機能

放送局のロゴ表示などによる焼き付き現象を生じにくくするための機能です。四すみの輝度は中央部より低くなります。

で「シェーディング」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で下記モードが選択できます。

切 / 入

「切」: シェーディング機能が働きません。
「入」: シェーディング機能が働きます。

お買い上げ時は、映像モード「スーパー」が「入」に設定されています。

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

メ モ

画面移動機能について

画面移動は 1 回の移動につき 2 画素ずつ移動します。移動する方向は「切」から「1」(又は「2」、「3」) を選択したときは右へ、順次選択した時間がたつごとに左下 A →左上 B →右上 C →右下 D と移動し、ひし形状にくり返します。

シェーディング機能について

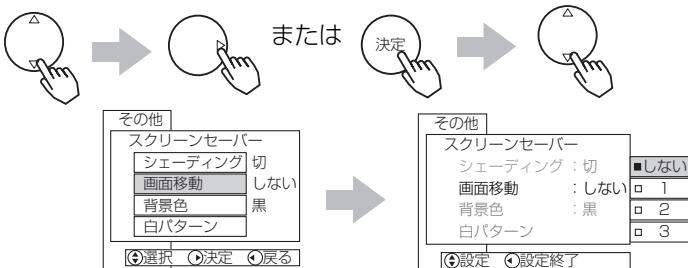
映像モード (スーパー / ナチュラル / シネマティック) 毎に設定できます。

お知らせ

- 焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する 76 、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは、完全には消えません。
- 「シェーディング」機能は、本機と接続するテレビモニター部により選択できない場合があります。

4 画面移動機能

焼き付き現象を生じにくくするために、画面を 2 画素ずつ移動させます。動きの少ない画像（特に PC 入力時）のときは「1」を選択してください。

で「画面移動」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で下記モードが選択できます。

しない/1/2/3

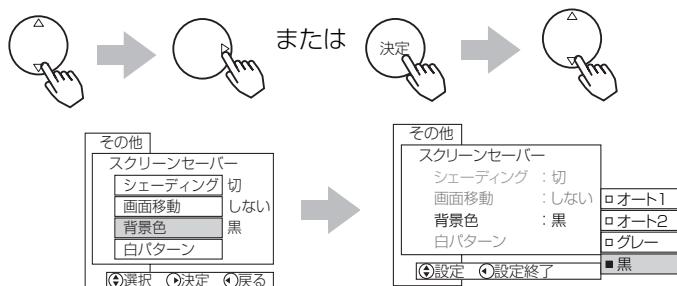
「しない」: 画面移動しない
「1」: 20 分おきに移動する
「2」: 40 分おきに移動する
「3」: 60 分おきに移動する

お買い上げ時は「1」に設定されています。

5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

6 ノーマルワイド、2 画面や PC 入力時の焼き付きが生じにくくする場合

ノーマルワイドでご覧になるときの左右の背景（画像のない部分）や 2 画面の上下の背景、PC 入力などをご覧になるときの背景の明るさを選択します。
お買い上げ時は「オート 1」が選択されています。

で「背景色」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で次のようにモードが切り換わります。

オート 1 / オート 2 / グレー / 黒

通常は「オート 1」または「オート 2」でご使用ください。「黒」や「グレー」の設定で長時間ご覧になると映像部分のみが焼き付いてしまうことがあるのでご注意ください。

7 設定が終了したら または決定ボタンを押す

メモ

背景色について

「オート 1」: ノーマルワイドの画面、2 画面、PC 画面の背景を映像部分との明るさの差が少ないグレーにします。また、デジタル放送や 1125i(1080i) コンポーネント入力で、画面の左右に黒い背景がついた 4:3 映像などをご覧のときは、背景色を自動的にグレーにします。
「オート 2」:「オート 1」よりも効果を大きくしたモードです。画面左右の背景の上部または下部に、放送局のロゴマークなどが表示されている場合でも背景をグレーにします。
「グレー」: デジタル放送や 1125i(コンポーネントビデオ入力) 時、4:3 映像検出による背景色の自動設定は行ないません。背景色をオリジナルにしてご覧になるときに設定します。
「黒」: 背景色を黒にします。暗い部屋で映像を楽しむときなど背景部分を暗くしてご覧になるときに設定します。

お知らせ

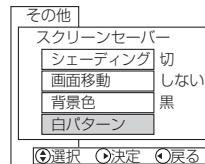
デジタル放送や 1125i(1080i) コンポーネント入力時の背景色「オート 1/2」動作について

- ●ビスタサイズやシネスコサイズの映像のように、上下の黒帯部分 (映像のない部分) はグレーになりません。
- ●オート動作するまでに約 10 秒かかります。また、暗い映像では時間がかかったり動作しない場合があります。
- ●背景部分が放送局側で着色されているような場合はオート動作しません。
- ●「オート 2」に設定していても、ロゴマークなどの表示位置によりオート動作しない場合があります。
- ●デジタル放送チャンネルを切り換えたり、デジタル関連の画面表示を出したりすると、オート動作は一時的にオフになります。
- ●オート動作により、放送内容によっては映像が欠けたり、黒背景が一部分残ったりすることがあります。

プラズマテレビの焼き付きについて

静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、パソコンやゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示させた場合、ノーマルワイドで長時間ご覧になった場合は、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
焼き付きを低減させるためには、下記をおすすめします。
①同じ絵柄を長時間または繰り返し表示させないようにする。
②スクリーンセーバーを使用する。
③ノーマルワイドでご使用の際には、背景色を「オート 1」、「オート 2」または「グレー」に設定する。
焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

8 焼き付き現象が生じた場合

○で「白パターン」を選び、○または決定ボタンを押し、○で設定する

リモコンの戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。
戻る以外のボタンを押すと、「戻る ボタンを押して下さい」というメッセージが表示されます。

9 設定が終了したら○または決定ボタンを押す

10 メニューボタンを押して、メニューを消す

メ モ

白パターンについて

焼き付き現象が生じた場合は、「白パターン」を選択して画面全体を白くします。この状態で 10 分間以上継続してください。まだ残っている場合は時間を延長してください。